

東北次世代がんプロ養成プラン セミナー実施報告書

(セミナー名称)	
講演者	:菅原 加奈子
所属	:大崎市民病院
テーマ	:がん患者のアドバンス・ケア・プランニングを支えるために
担当者氏名: 佐藤 富美子 教授	所属: 東北大学大学院がん看護学分野
内線: 7926	Email: fsato@med.tohoku.ac.jp
1. 実施年月日:	
令和 4年 3月 17日	
2. 開催場所:	
ZOOM	
3. 関連分野:	
アドバンスケアプランニング、がん看護	
4. 対象者:	
一般の方々、医療従事者、学生等、どなたでも	
5. 参加人数: 36名 (学生・医療従事者・教員など)	
6. 成果:	
<p>今回の講演会も、コロナ禍のためオンラインシステムを利用した講演会となった。講演者は、本学の科目履修にてがん看護専門看護師を取得後、博士課程に進学し、3月で修了予定の学生である。本日は、講演者が博士課程で取り組んだアドバンス・ケア・プランニングに関してご講演いただいた。</p> <p>講演では、アドバンス・ケア・プランニングについてレクチャーがあった。講演者は、博士課程において質評価指標の開発を行った。その質評価指標の項目及び使用方法について説明があり、知見を活かして行くのは今後の課題としてあがった。参加者からは、実臨床において、医師の説明を受けた後に、相談支援室に来た患者に対して、どんなアドバンスケア・プランニングを実践されているのか質問があった。講演者は対象者がなぜその選択をしたのか、その選択を解決していくにはどうしたら良いか、患者自身でその行動を取れるように時間をかけて関わっているという回答があった。</p> <p>本日の参加者は学部学生が多かったものの、臨床看護師の参加もあり、実臨床で生かしていくための知見を共有できたことが成果である。</p>	

【当日の会場の様子などの写真がございましたら、添付ください】

がん患者の アドバンス・ケア・プランニング(ACP) を支えるために



大崎市民病院
患者サポートセンター(がん相談支援センター)
がん看護専門看護師 菅原加奈子



実践から見えてきたACPの課題

ACPの目的を理解することが大切



- ☑ACPは患者の死に関する支援計画というように誤解されることは避けなければならない。
- ☑ACPは医療者の満足感や達成感を得るためのものではない。
- ☑ACPは医療者の価値観の押し付けではなく、患者の意向表出を助け、その意向が尊重されるよう支援することである。

